



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 スペースシャワー-SKIYAKIホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL https://sssk-hd.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 吉人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03-6478-2394
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	22,858	10.8	1,957	123.0	2,004	125.3	1,197	316.6
2025年3月期	20,637	27.8	877	42.0	889	43.5	287	2.6

(注) 包括利益 2026年3月期 1,256百万円 (404.6%) 2025年3月期 248百万円 (△21.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	73.14	—	14.2	11.7	8.6
2025年3月期	17.26	—	4.8	7.4	4.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	18,416	8,938	48.0	542.45
2025年3月期	15,959	8,082	50.2	484.82

(参考) 自己資本 2026年3月期 8,835百万円 2025年3月期 8,019百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,513	△2,427	△502	7,072
2025年3月期	1,309	△640	△352	6,489

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00	215	75.3	2.7
2026年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	407	34.2	4.9
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		39.6	

(注) 2025年3月期期末配当金の内訳：普通配当 10円00銭 記念配当 3円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	0.6	2,000	2.2	2,050	2.3	1,220	1.8	75.73

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 有

新規 一社 (社名) 一、
除外 1社 (社名) コネクトプラス株式会社

(注) 詳細は、添付資料14頁「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	17,029,205株	2025年3月期	17,029,205株
2026年3月期	740,848株	2025年3月期	488,182株
2026年3月期	16,377,218株	2025年3月期	16,664,249株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,323	40.7	362	107.1	361	112.4	316	80.3
2025年3月期	940	△91.6	174	△1.5	170	△45.1	175	65.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	19.35	—
2025年3月期	10.55	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	7,661	4,749	62.0	291.56
2025年3月期	5,739	4,813	83.9	291.02

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,749百万円 2025年3月期 4,813百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	14
(セグメント情報等の注記)	15
(企業結合等に関する注記)	18
(収益認識に関する注記)	19
(1株当たり情報の注記)	19
(重要な後発事象の注記)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度における我が国経済は、賃上げの継続や設備投資の拡大を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米国の関税政策に起因する世界的な通商摩擦の激化や、それに伴う円相場の不安定な推移、中東地域をはじめとする地政学的リスクの高まりや原油価格の不安定な推移によるエネルギーコストの変動など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する音楽・エンタテインメント業界においては、引き続き活況を呈しております。前述のような世界情勢による直接的な影響は軽微にとどまっているものの、物価上昇に伴う制作費・人件費の高騰がコスト面での課題となっているほか、消費者の支出行動には選別傾向も強まっており、価格帯や体験価値に応じたコンテンツ・サービス設計がより一層求められております。加えて、AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展により、コンテンツ制作や流通・消費の在り方も大きく変化しており、従来型のビジネスモデルの変革と多様化するファンのニーズへの柔軟な対応が、重要な経営課題となっております。

このように多様化し変革を求められる社会・経済環境において、当社グループは、2024年4月に株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKIYAKIとの経営統合を経て、持株会社体制へと移行し、両社の強みを活かした新たな企業体制を構築してまいりました。グループとして初の中期経営計画「Ignite 2027」の初年度となる当連結会計年度においては、コンテンツとテクノロジーを融合させた新たな価値創造に取り組み、定量目標の達成に向けて持続的な発展を実現してまいりました。

株式会社スペースシャワーネットワークにおいては、ライブ事業にて、当社主催の日本最大級のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」、同じく主催の野外音楽フェスティバル「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」が共にチケット完売で成功を収め、アーティスト事業では、Suchmos活動再開による大型ライブの実施、STUTS楽曲の「ポカリスエット」CM曲採用、ハンバート ハンバートのNHK紅白歌合戦出場など、当社グループの企業価値向上に寄与しました。インフィニア株式会社が運営するエンタテインメントカフェ事業では、中京地区初出店となる「あっとほおむカフェ名古屋大須本店」の2店舗同時開業により事業エリアを拡大し、年間88万人（前年同期比14.9%増）の来場者数を記録しました。

株式会社SKIYAKIのプラットフォーム事業「Bitfan PRO」「Bitfan」においては、ファンクラブの有料会員数が170.7万人（前年同期比28.8%増）、サービス数が1,661（前年同期比32.0%増）と好調に推移しました。また、株式会社SPACE SHOWER FUGAが提供するディストリビューション事業では、音楽配信売上などが好調に推移したほか、スペースシャワーエンタテインメントプロデュース株式会社のプロデュース事業においては、群馬県との共同開催『GFEST2025.』にて2日間で約2万人、福岡ソフトバンクホークス、BEAMSとの共同開催『FUKUOKA MUSIC FES. 2026』にて2日間で約5万人を動員するなど、大規模イベントの共催においても実績を重ねました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は22,858,256千円と前期比2,221,126千円増（同10.8%増）、営業損益は営業利益1,957,002千円と前期比1,079,551千円増（同123.0%増）、経常損益は経常利益2,004,016千円と前期比1,114,708千円増（同125.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,197,880千円と前期比910,325千円増（同316.6%増）と、増収増益となりました。EBITDAは2,576,562千円と前期比1,064,990千円増（同70.5%増）と増加いたしました。

なお、EBITDAは、営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

セグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

a. コンテンツセグメント

ライブ事業において、今期は「POP YOURS」「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」が共にチケット完売で無事開催され、アーティスト事業では活動再開した所属アーティストの公演収益が拡大しました。加えて、エンタテインメントカフェ事業についても、稼働率、来場者共に好調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は11,299,543千円と前期比1,272,999千円増（同12.7%増）となり、セグメント損益（営業損益）につきましては、セグメント利益（営業利益）が1,298,097千円と前期比540,431千円増（同71.3%増）、セグメントEBITDAが1,592,814千円と前期比585,029千円増（同58.1%増）となりました。

b. ソリューションセグメント

プラットフォーム事業におけるストック収益であるファンクラブ売上とフロー収益のEC売上が好調に推移し、ディストリビューション事業においても、音楽配信売上が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は11,558,712千円と前期比948,127千円増（同8.9%増）となり、セグメント損益（営業損益）につきましてはセグメント利益（営業利益）が660,261千円と前期比538,502千円増（前期はセグメント利益（営業利益）121,758千円）、セグメントEBITDAが985,105千円と前期比479,342千円増（同94.8%増）となりました。

② 今後の見通し

2026年3月期につきましては、当連結累計会計期間の業績を踏まえ、2025年2月13日に公表の2026年3月期通期連結業績予想および配当予想に記載の配当予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2026年5月14日）公表いたしました「期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社グループは2024年11月13日に公表した中期経営計画「Ignite 2027」に基づき、2026年3月期から2028年3月期までの3年間を計画期間とし、本計画の達成に向け2025年4月1日付でグループ再編を実施、経営資源の適切な配分とセグメント間のシナジー強化を図る体制を整備いたしました。その結果、2026年3月期業績が当初掲げていた2028年度3月期の業績目標を超えて達成し、本日（2026年5月14日）の「中期経営計画の修正に関するお知らせ」に記載の通り、中期経営計画の定量目標を上方修正いたしました。

2027年3月期以降は、以下の重点施策を推進し、収益力の強化と事業基盤の拡充を目指します。

- ・プラットフォームの成長加速：アーティスト・クリエイターとの新規契約拡大、BtoB向け導入支援の強化、海外展開の検討などを通じて、「Bitfan Pro」及び「Bitfan」の成長を加速。
- ・コンテンツ・メディアの付加価値向上：番組制作やライブ配信の強化、自社IP開発による収益多角化を進める。
- ・クロスセル型のIP・ファンマーケティング展開：グッズ販売、ファンクラブ運営支援、イベント企画など、複数事業の連携による価値創出を推進。
- ・全社的な業務効率化・DX推進：基幹システムの刷新、業務プロセスの最適化を通じて、収益性向上と意思決定の迅速化を実現。

株主還元については、中期経営計画「Ignite 2027」期間中は、連結配当性向40～50%を目標に累進配当を継続し、年間200百万円を上限とする自己株式取得につきましても、継続的に実施してまいります。

これら施策を着実に遂行し、ファン・アーティスト・顧客・株主の皆様と共に持続的成長を実現してまいります。

なお、2027年3月期、通期の連結業績予想については、売上高23,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益2,050百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,220百万円、EBITDA 2,610百万円を見込んでいます。

（目標とする経営指標の達成状況）

当社グループは、連結営業利益およびEBITDA水準の向上を経営指標として考えております。

2026年3月期につきましては、コンテンツセグメントにおいて、主催の大型フェス「POP YOURS」「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」の共にチケット完売での開催、アーティスト事業の収益拡大、エンタテインメントカフェ事業の好調な推移。ソリューションセグメントにおけるプラットフォーム事業、音楽配信事業の好調な推移などにより、連結営業利益およびEBITDAは前連結会計年度を大きく上回る結果となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、主に建設仮勘定が192,542千円、のれんが93,674千円、顧客関連資産が145,000千円、繰延税金資産が87,730千円減少した一方で、現金及び預金が583,537千円、受取手形及び売掛金が240,612千円、建物及び構築物などの有形固定資産（建設仮勘定を除く）が164,642千円、長期預金が2,000,000千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,456,694千円増加し、18,416,629千円となりました。

負債は、1年内返済予定の長期借入金が66,400千円、未払金が573,980千円減少した一方で、未払法人税等が452,298千円、預り金が1,267,784千円、賞与引当金が71,231千円、役員賞与引当金が67,869千円、その他（流動負債）が310,689千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,600,027千円増加し、9,477,857千円となりました。

純資産は、市場買付により自己株式を取得したことにより172,515千円減少した一方で、利益剰余金が982,847千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ856,667千円増加し、8,938,771千円となりました。

② 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、583,537千円の獲得となり、資金の期末残高は7,072,994千円となりました。これは、投資活動により2,427,214千円、財務活動により502,398千円資金を使用した一方で、営業活動により3,513,151千円資金を獲得したことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は、3,513,151千円（前連結会計年度は1,309,643千円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の増加により240,612千円、棚卸資産の増加により52,811千円、その他の流動資産の減少により79,573千円、法人税等の支払により253,191千円資金を使用した一方で、税金等調整前当期純利益により2,017,787千円、減価償却費により211,839千円、のれん償却額により93,674千円、無形固定資産償却費により314,046千円、その他の流動負債の増加により1,397,597千円、賞与引当金の増加により71,231千円、役員賞与引当金の増加により67,869千円資金を獲得したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の使用は、2,427,214千円（前連結会計年度は640,151千円の使用）となりました。これは主に、長期預金の預入により2,000,000千円、有形固定資産の取得により245,781千円、無形固定資産の取得により206,819千円資金を使用したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の使用は、502,398千円（前連結会計年度は352,439千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払により215,033千円、長期借入金の返済により66,400千円、自己株式の取得により200,907千円資金を使用したことによるものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、I F R Sの適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,489,456	7,072,994
受取手形及び売掛金	3,113,989	3,354,602
商品	43,977	90,642
仕掛品	147,303	154,530
貯蔵品	8,420	7,340
その他	575,939	506,827
貸倒引当金	△72,781	△43,369
流動資産合計	10,306,307	11,143,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,170,430	1,447,446
機械装置及び運搬具	12,787	10,287
工具、器具及び備品	660,680	733,304
土地	52,640	52,640
リース資産	3,320	19,767
建設仮勘定	192,542	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△885,382	△1,084,325
有形固定資産合計	1,207,019	1,179,120
無形固定資産		
のれん	1,217,767	1,124,092
顧客関連資産	1,885,000	1,740,000
商標権	72,186	59,572
ソフトウェア	483,123	509,911
ソフトウェア仮勘定	10,778	20,482
その他	5,199	7,152
無形固定資産合計	3,674,054	3,461,212
投資その他の資産		
投資有価証券	43,758	43,758
敷金及び保証金	436,081	404,545
繰延税金資産	208,046	120,315
長期預金	—	2,000,000
その他	88,685	75,061
貸倒引当金	△4,018	△10,952
投資その他の資産合計	772,553	2,632,729
固定資産合計	5,653,627	7,273,062
資産合計	15,959,934	18,416,629

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,122,449	2,122,896
1年内返済予定の長期借入金	66,400	—
リース債務	760	2,882
未払金	1,214,928	640,948
未払法人税等	113,444	565,743
預り金	2,591,100	3,858,885
賞与引当金	292,348	363,580
役員賞与引当金	39,044	106,913
損害賠償損失引当金	—	21,400
その他	637,516	948,206
流動負債合計	7,077,994	8,631,456
固定負債		
リース債務	321	13,999
退職給付に係る負債	522,577	537,856
役員退職慰労引当金	31,322	41,552
繰延税金負債	214,890	198,360
その他	30,724	54,633
固定負債合計	799,836	846,401
負債合計	7,877,830	9,477,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,819,382	5,825,321
利益剰余金	2,302,452	3,285,299
自己株式	△202,471	△374,986
株主資本合計	8,019,362	8,835,635
非支配株主持分	62,741	103,136
純資産合計	8,082,104	8,938,771
負債純資産合計	15,959,934	18,416,629

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	20,637,129	22,858,256
売上原価	15,168,578	16,042,746
売上総利益	5,468,550	6,815,509
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	123,034	166,381
役員報酬	197,102	218,721
人件費	1,584,765	1,626,819
退職給付費用	46,031	36,052
役員退職慰労引当金繰入額	8,412	9,833
賞与引当金繰入額	160,630	230,681
役員賞与引当金繰入額	39,045	106,179
株式報酬費用	23,233	32,769
地代家賃	317,572	258,620
賃借料	3,732	17,466
旅費及び交通費	52,826	66,295
減価償却費	358,108	319,927
貸倒引当金繰入額	16,136	△31,058
消耗品費	16,504	17,554
水道光熱費	22,099	14,861
通信費	36,305	32,861
支払手数料	684,740	805,324
業務委託・協力費	295,746	292,004
その他	605,070	637,211
販売費及び一般管理費合計	4,591,100	4,858,507
営業利益	877,450	1,957,002
営業外収益		
受取利息	3,557	11,802
受取配当金	991	1,811
為替差益	—	21,773
受取賃貸料	1,549	1,812
受取和解金	—	17,026
償却債権取立益	7,868	2,835
雑収入	5,188	9,046
営業外収益合計	19,154	66,108
営業外費用		
支払利息	2,354	1,451
為替差損	2,261	—
持分法による投資損失	102	—
貸倒引当金繰入額	—	8,580
支払手数料	758	2,004
雑損失	1,819	7,057
営業外費用合計	7,296	19,093
経常利益	889,308	2,004,016

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
特別利益		
固定資産売却益	147	15
投資有価証券売却益	113,633	6,000
ゴルフ会員権売却益	—	8,063
特別利益合計	113,781	14,079
特別損失		
固定資産売却損	361	—
固定資産除却損	5,679	308
減損損失	49,028	—
事務所移転費用	50,510	—
構造改革費用	291,091	—
その他	37,408	—
特別損失合計	434,079	308
税金等調整前当期純利益	569,009	2,017,787
法人税、住民税及び事業税	249,669	690,376
法人税等調整額	△12,341	71,200
法人税等合計	237,328	761,577
当期純利益	331,681	1,256,210
非支配株主に帰属する当期純利益	44,125	58,329
親会社株主に帰属する当期純利益	287,555	1,197,880

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
当期純利益	331,681	1,256,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,748	—
その他の包括利益合計	△82,748	—
包括利益	248,932	1,256,210
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	204,807	1,197,880
非支配株主に係る包括利益	44,125	58,329

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,763,645	2,153,034	△169,003	3,847,676
当期変動額					
剰余金の配当			△138,137		△138,137
親会社株主に帰属する当期純利益			287,555		287,555
自己株式の取得				△80,107	△80,107
自己株式の処分		4,335		46,639	50,975
株式交換による増加		4,051,400			4,051,400
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	4,055,736	149,417	△33,468	4,171,686
当期末残高	100,000	5,819,382	2,302,452	△202,471	8,019,362

(単位：千円)

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	82,748	82,748	11,416	3,941,841
当期変動額				
剰余金の配当				△138,137
親会社株主に帰属する当期純利益				287,555
自己株式の取得				△80,107
自己株式の処分				50,975
株式交換による増加				4,051,400
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△82,748	△82,748	51,324	△31,423
当期変動額合計	△82,748	△82,748	51,324	4,140,262
当期末残高	—	—	62,741	8,082,104

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	5,819,382	2,302,452	△202,471	8,019,362
当期変動額					
剰余金の配当			△215,033		△215,033
親会社株主に帰属する当期純利益			1,197,880		1,197,880
自己株式の取得				△200,907	△200,907
自己株式の処分		5,939		28,392	34,332
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	5,939	982,847	△172,515	816,272
当期末残高	100,000	5,825,321	3,285,299	△374,986	8,835,635

（単位：千円）

	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	62,741	8,082,104
当期変動額		
剰余金の配当		△215,033
親会社株主に帰属する当期純利益		1,197,880
自己株式の取得		△200,907
自己株式の処分		34,332
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	40,395	40,395
当期変動額合計	40,395	856,667
当期末残高	103,136	8,938,771

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	569,009	2,017,787
減価償却費	220,576	211,839
のれん償却額	93,674	93,674
無形固定資産償却費	319,870	314,046
株式報酬費用	23,233	32,769
減損損失	49,028	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	10,695	△22,477
受取利息及び受取配当金	△4,548	△13,613
敷金及び保証金償却	16,082	18,846
支払利息	2,354	1,451
有形固定資産除売却損益（△は益）	798	92
無形固定資産除売却損益（△は益）	5,095	200
事務所移転費用	50,510	—
構造改革費用	291,091	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△113,633	△6,000
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	—	△8,063
出資金償却	166	5,176
受取和解金	—	△17,026
差入保証金の増減額（△は増加）	35	28
長期前払費用の増減額（△は増加）	△28,202	3,816
売上債権の増減額（△は増加）	△599,031	△240,612
棚卸資産の増減額（△は増加）	26,217	△52,811
その他の流動資産の増減額（△は増加）	106,051	79,573
仕入債務の増減額（△は減少）	420,819	447
その他の流動負債の増減額（△は減少）	317,266	1,397,597
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△50	23,908
賞与引当金の増減額（△は減少）	8,531	71,231
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	17,231	67,869
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△189,476	15,278
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,020	10,229
小計	1,618,419	4,005,260
利息及び配当金の受取額	4,548	13,613
利息の支払額	△2,354	△1,451
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	21,836	12,424
法人税等の支払額	△271,734	△253,191
和解金の受取額	—	17,026
事務所移転費用の支払額	△50,510	—
構造改革費用の支払額	△10,560	△280,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,309,643	3,513,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期預金の預入による支出	—	△2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△570,677	△245,781
有形固定資産の売却による収入	369	15
無形固定資産の取得による支出	△194,663	△206,819
無形固定資産の売却による収入	—	21
資産除去債務の履行による支出	△84,371	—
投資有価証券の売却による収入	250,816	6,000
ゴルフ会員権の売却による収入	—	16,363
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,513	—
出資金の払込による支出	△25,000	△6,924
貸付けによる支出	△22,900	—
貸付金の回収による収入	2,791	3,900
敷金及び保証金の差入による支出	△37,006	△15,228
敷金及び保証金の回収による収入	38,977	21,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△640,151	△2,427,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△138,137	△215,033
非支配株主への配当金の支払額	—	△17,934
長期借入金の返済による支出	△133,450	△66,400
リース債務の返済による支出	△743	△2,123
自己株式の取得による支出	△80,107	△200,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352,439	△502,398
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	317,052	583,537
現金及び現金同等物の期首残高	3,123,253	6,489,456
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,049,150	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,489,456	7,072,994

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

連結の範囲の重要な変更

2025年4月1日を効力発生日として、株式会社SKIYAKIを吸収合併存続会社、コネクトプラス株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、当連結会計年度よりコネクトプラス株式会社を連結の範囲から除外しております。

（セグメント情報等の注記）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、音楽ビジネスを始めとした、エンタテインメントに関わる多種多様な事業を展開しており、音楽イベントの主催、ライブハウス、エンタテインメントカフェの運営、アーティストマネジメントやレーベル・エージェント、音楽専門有料放送などの音楽のコンテンツを軸とした分野と、ファンプラットフォームの提供や、音楽配信の楽曲流通、ミュージックビデオやライブ映像、イベントの受託制作などのソリューションを軸とした分野を事業領域として事業の展開をしております。

報告セグメント	主な事業内容及び収益分解区分	
コンテンツ	イベント事業（ライブ売上）	「SWEET LOVE SHOWER」「POP YOURS」等の主催イベントの企画運営
	ライブハウス事業（ライブ売上）	ライブハウス「WWW」「WWW X」の運営
	アーティストマネジメント事業（アーティスト売上）	当社所属アーティストのマネジメント
	レーベル・エージェント事業（アーティスト売上）	音源制作、音楽出版管理、エージェント業務など
	有料放送事業（メディア売上）	「スペースシャワーTV」の編成、制作など
	オンデマンド事業（メディア売上）	「スペースシャワーオンデマンド」の運営
	エンタテインメントカフェ事業（エンタテインメントカフェ売上）	「あっとほおーむカフェ」の運営
ソリューション	プラットフォーム事業（プラットフォーム売上）	「Bitfan Pro」「Bitfan」の開発運営等
	EC・MD事業（プラットフォーム売上）	グッズの企画制作やECサイト「スペシャストア」等の運営
	アライアンス事業（クリエイティブソリューション売上）	協賛広告の獲得や他社とのコンテンツの共同制作など
	映像制作事業（クリエイティブソリューション売上）	音楽ライブの映像収録やミュージックビデオの映像制作など
	ディストリビューション事業（ディストリビューション売上）	音楽配信やパッケージを通じた楽曲等の流通

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

（収益分解区分の変更）

より経営実態に即するべく、顧客との契約から生じる収益を分解した情報に係る収益分解区分の見直しを行った結果、当連結会計年度より、従来開示しておりました「ライブ・コンテンツ売上」を「ライブ売上」と「アーティスト売上」の2区分に分けて開示しております。

この変更に伴い、前連結会計年度の顧客との契約から生じる収益を分解した情報についても変更後の収益分解区分により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
ライブ売上	2,603,345	—	2,603,345	—	2,603,345
アーティスト売上	1,322,842	—	1,322,842	—	1,322,842
メディア売上	2,787,054	—	2,787,054	—	2,787,054
エンタテインメントカフェ売上	3,313,301	—	3,313,301	—	3,313,301
プラットフォーム売上	—	3,488,294	3,488,294	—	3,488,294
ディストリビューション売上	—	4,757,049	4,757,049	—	4,757,049
クリエイティブソリューション売上	—	2,365,241	2,365,241	—	2,365,241
顧客との契約から生じる収益	10,026,544	10,610,585	20,637,129	—	20,637,129
外部顧客への売上高	10,026,544	10,610,585	20,637,129	—	20,637,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	723,348	87,095	810,443	△810,443	—
計	10,749,892	10,697,681	21,447,573	△810,443	20,637,129
セグメント利益	757,666	121,758	879,425	△1,975	877,450
セグメント資産	2,755,650	12,368,290	15,123,941	835,993	15,959,934
その他の項目					
減価償却費	250,117	290,329	540,447	—	540,447
のれん償却額	—	93,674	93,674	—	93,674
受取利息	272	3,258	3,531	25	3,557
支払利息	18	1,200	1,218	1,136	2,354
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	371,162	106,327	477,490	388,144	865,635

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△1,975千円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、投資と資本の相殺消去、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産835,993千円であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	757,666	121,758	879,425	△1,975	877,450
減価償却費	250,117	290,329	540,447	—	540,447
のれんの償却額	—	93,674	93,674	—	93,674
セグメントEBITDA (注) 4	1,007,784	505,762	1,513,546	△1,975	1,511,571

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
ライブ売上	3,063,697	—	3,063,697	—	3,063,697
アーティスト売上	2,258,789	—	2,258,789	—	2,258,789
メディア売上	2,309,761	—	2,309,761	—	2,309,761
エンタテインメントカフェ売上	3,667,295	—	3,667,295	—	3,667,295
プラットフォーム売上	—	4,017,371	4,017,371	—	4,017,371
ディストリビューション売上	—	4,925,403	4,925,403	—	4,925,403
クリエイティブソリューション売上	—	2,615,938	2,615,938	—	2,615,938
顧客との契約から生じる収益	11,299,543	11,558,712	22,858,256	—	22,858,256
外部顧客への売上高	11,299,543	11,558,712	22,858,256	—	22,858,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,006,859	189,884	1,196,744	△1,196,744	—
計	12,306,402	11,748,597	24,055,000	△1,196,744	22,858,256
セグメント利益	1,298,097	660,261	1,958,359	△1,357	1,957,002
セグメント資産	3,011,921	14,539,161	17,551,082	865,546	18,416,629
その他の項目					
減価償却費	294,716	231,169	525,885	—	525,885
のれん償却額	—	93,674	93,674	—	93,674
受取利息	477	9,589	10,067	1,735	11,802
支払利息	959	474	1,434	16	1,451
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	45,107	83,786	128,893	19,340	148,233

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△1,357千円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、投資と資本の相殺消去、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産865,546千円であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	1,298,097	660,261	1,958,359	△1,357	1,957,002
減価償却費	294,716	231,169	525,885	—	525,885
のれんの償却額	—	93,674	93,674	—	93,674
セグメントEBITDA (注) 4	1,592,814	985,105	2,577,919	△1,357	2,576,562

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

（企業結合等に関する注記）

（共通支配下の取引等）

I. 吸収分割

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：アライアンス事業（株式会社スペースシャワーネットワーク旧アライアンス事業本部の事業）

事業の内容：協賛広告の獲得及び他社とのコンテンツの共同制作等

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社スペースシャワーネットワークを吸収分割会社とし、スペースシャワーエンタテインメントプロデューシング株式会社（2025年4月1日付で株式会社セップより商号変更）を吸収分割承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

吸収分割会社	吸収分割承継会社
株式会社スペースシャワーネットワーク	スペースシャワーエンタテインメントプロデューシング株式会社（2025年4月1日付で株式会社セップより商号変更）

(5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化、事業部門間の連携強化、全体的な事業ポートフォリオの最適化を目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

II. 吸収合併

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

（吸収合併存続会社）

結合企業の名称 株式会社SKIYAKI

事業の内容 ファンクラブなどのプラットフォームの開発・提供

（吸収合併消滅会社）

被結合企業の名称 コネクトプラス株式会社

事業の内容 アーティスト等のファンクラブ／ファンサイトの運営

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社SKIYAKIを存続会社、コネクトプラス株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社SKIYAKI

(5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化、事業部門間の連携強化、全体的な事業ポートフォリオの最適化を目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

（収益認識に関する注記）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「（5）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

（1株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	484.82円	542.45円
1株当たり当期純利益	17.26円	73.14円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	8,082,104	8,938,771
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	62,741	103,136
（うち非支配株主持分（千円））	(62,741)	(103,136)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	8,019,362	8,835,635
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	16,541,023	16,288,357

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	287,555	1,197,880
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	287,555	1,197,880
期中平均株式数（株）	16,664,249	16,377,218

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。